

権力は、分断によって、私たちの力を殺ごうとします。私たちにはそれぞれの生活があり、ときに立場を異にしますが、失ってはならないのは、権力がたえず産み出す分断を越えて語り合おうとする意志でしょう。

沖縄の基地問題においては反対派と条件付容認派の分断が深まり、短歌のあり方にも影を落としています。

この問題を多くの方々で議論していただけるよう、パネルディスカッションを企画致しました。

県の内外を問わず、広くご参加をお待ち申し上げております。

尚、当日の様子は「現代短歌」八月号(七月十四日発売)に採録の予定です。

パネルディスカッション

「分断をどう越えるか」沖縄と短歌」開催のご案内

日時 二〇一八年六月十七日(日)午後一時三〇分～五時(受付午後一時～)

会場 那覇市IT創造館 大会議室

那覇市銘苅二一三六 TEL〇九八一九四一七〇〇 モノレール古島駅から徒歩八分 又は市民協働プラザ隣
駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【プログラム】

基調講演 「沖縄の短歌 その可能性」 吉川宏志

パネルディスカッション 「分断をどう越えるか」沖縄と短歌」

パネリスト 名嘉真恵美子 平敷武蕉 屋良健一郎 (五十音順)

司会 吉川宏志

主催 現代短歌社

参加費 一般一〇〇〇円 学生五〇〇円※当日、受付にてお支払い下さい。

申込方法 会場準備の都合がありますので、左記いずれかにてできるだけ事前にお申込み下さい。

郵便 〒一七一〇〇三二 東京都豊島区目白二八二C三 現代短歌社

TEL〇三六九〇三一四〇〇 FAX〇三六九〇三一四〇一 MAIL info@gendaitankasha.com

